

東北農政局長賞

全国農業協同組合連合会 及び 福島県内4農協 (福島県)

【主な品目】

米、もも、なし、かき、
牛肉等

【主な輸出先国・地域】

タイ、マレーシア、イギリス、ベトナム、インド
ネシア、シンガポール、UAE、アメリカ

【輸出取組の概要】

- 福島県の復興に向けて、安全性とおいしさを広くアピールし、全農福島と4農協が連携した取組による販路開拓、販路拡大。
- 農産物の鮮度を保つ空気調整(CA)コンテナを平成28年度からタイ向けのももで本格採用。
- タイ、マレーシアなどの百貨店等店舗で販売、消費宣伝を実施。

【輸出実績】（平成24年から輸出開始）

	輸出額(万円)	輸出量(t)	出荷時期
平成28年度	3,295	62.3(青果物40.0、米21.4、牛肉0.8)	通年
平成27年度	2,115	39.5(青果物25.3、米13.2、牛肉0.9)	
平成26年度	1,126	10.9(青果物25.3、米0.9、牛肉0.9)	

輸出に取り組んだきっかけ

- ・ 東日本大震災に伴う原発事故の影響により、福島県産の食品に関しては、今なお多くの国・地域からの輸入規制があり、これまで青果物輸出先の中心だった中国、台湾、香港では、生鮮食品が輸入停止となりました。
- ・ こうした中、福島県などの行政機関が輸出技術の検討やバイヤーの紹介等の支援を行い、全国農業協同組合連合会福島県本部が販売窓口、福島県内の4農業協同組合が生産と出荷を担当する役割分担を行い、官民連携してASEAN地域への新たな販路を開拓することとしました。

取り組む際に生じた課題

- ・ 輸出に関する情報や必要な検疫行程などの知識が不足していました。
- ・ 鮮度を確保するには空輸となり、商品価格は高額になり販売数量が限られました。
- ・ 現地の正確な情勢把握と販売先との商談機会が不足していました。
- ・ 福島牛は、特定部位(ロース、ヒレ)のみ輸出となり、残りの部位の販売先確保が必要となりました。

生じた課題への対応

- ・ 輸出国に直接出向き、現地業者から情報を収集し、検疫などへの対応を行いました。
- ・ 青果市場を利用したことによる売買契約、代金決済、物流のスムーズな対応が可能となりました。
- ・ 独自に行った空気調整(CA)コンテナを利用した輸送試験の結果、船便での輸送が可能であることがわかりました。
- ・ 現地法人など販売先との交渉による販路拡大を図るため、バイヤーを招聘して圃場視察や試食等を行い、バイヤーへ積極的に売り込みを行いました。
- ・ 福島県や輸出業者と輸出ターゲット国へ出向き、現地の米輸入業者や小売店バイヤー、レストラン関係者と商談を行い、現地における米のニーズ把握に努めました。
- ・ 福島牛における特定部位以外の販売は、首都圏を中心とした販売先開拓に注力しました。

対応の結果

- ・ 輸出の取組は、国内向け販売価格の下落を抑制し、販売の安定化に寄与しています。
- ・ 輸出品の知名度やブランドとしての価値向上、国内での評価向上に繋がりました。
- ・ 空気調整(CA)コンテナの採用により、空輸便から船便に変更したことで輸送コストが削減され、富裕層だけでなく一般消費者も購入できる価格設定ができ、取扱数量が拡大しました。
- ・ 現地の日系百貨店等による店頭販売米だけでなく、現地の米輸入業者と連携のうえ日本料理レストラン等へも積極的に営業を進めたことにより、輸出数量が拡大しました。
- ・ 福島牛1頭を海外と国内で部位別に販売できるようになり、輸出に対応できる体制が構築できました。

今後の課題・展望

- ・ 検疫への対応など国内出荷体制を確立する必要があります。
- ・ 輸出国へ産地の旬に合わせた出荷計画提案や産地の状況を正確に伝えることにより、輸出量の拡大に努めていきます(平成29年12月末の輸出量163トン)。
- ・ 品質低下割合の更なる低減を目指し、平成29年度からマレーシア向けにも空気調整(CA)コンテナを本格採用します。また、平成29年に輸入解禁となったベトナムへは、なしの輸出を拡大していきます。
- ・ 海外における他国産米との価格競争が依然として激しいため、多収性・低コスト栽培を柱とした輸出専用産地づくりの強化を進めます。
- ・ 福島牛輸出においては、今後想定される他国の輸入規制緩和・撤廃を見据え、EU等の国際基準に対応できる販売・流通体制の構築に努めます。また、福島県の販売促進施策により、平成30年3月にEUへ初輸出します。



シンガポールでの天のつば
販売の様子(H28.12)



ベトナムイオンモール様での梨
試食販売会の様子(H29.8)



タイ・バンコクの百貨店での
販売の様子(H28.8)

【活用した支援・施策】 平成28年度福島県輸出回復緊急対策事業

【連絡先】 担当者名:JA全農福島 園芸部園芸課 三浦恒、TEL:024-554-3293